

円レートが急速に円安方向に向かう中で、海外から批判の声が出始めた。日本は「近隣窮乏化政策」をとっているという声もある。

近隣窮乏化政策とは、他の国の犠牲の下で、日本だけが利益を得るための政策という意味だ。円安によって日本の輸出が増えれば、海外では逆に輸出が減るからだ。

日本としては不当に為替レート操作をしているわけではないので、こうした批判は当たらない。ただ、金融政策と為替レートの関係について、考え方を整理しておく必要があるだろう。資本の国際移動が活発になれば、金融政策と為替レ



伊藤元重の

## ニュースな見方

ートの関係が、マクロ経済政策の効果を考える上で重要になる。これを最初に指摘したのが「マンデルロフ・レミングモデル」であり、ロバート・マンデル教授はこの業績などでノーベル経済学賞を受賞した。

閉鎖経済であれば、金融政策は金利低下などを通じて経済を刺激する。しかし海外との経済取引が活発な開放経済では、為替レートの動きにも注目すべきだ。金融緩和と政策をとれば、為替レートが円安の方向に動いていく。

株価の動きも連動している。為替レートの動きも連動している。株価の動きも連動している。株価の動きも連動している。

株価の動きも連動している。株価の動きも連動している。株価の動きも連動している。

# 金融政策、為替操作でない

株価の動きも連動している。株価の動きも連動している。株価の動きも連動している。

株価の動きも連動している。株価の動きも連動している。株価の動きも連動している。

株価の動きも連動している。株価の動きも連動している。株価の動きも連動している。

### 円高修正に海外から批判

株価の動きも連動している。株価の動きも連動している。株価の動きも連動している。

株価の動きも連動している。株価の動きも連動している。株価の動きも連動している。

株価の動きも連動している。株価の動きも連動している。株価の動きも連動している。

\*この記事は日本経済新聞社の許諾を得て転載しています。

(東大大学院)

経済学研究科教授)